

一宮西高 同窓会報

第30号

2015年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376

TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196

E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp

「10回生への想い」

暑中お見舞申し上げます。同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃は、西高同窓会の活動に対し深いご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。私は平成26年度に同窓会役員に指名されました12回生の尾関 毅でございます。浅学非才の私ですが、何卒よろしくお願い致します。

さて今年も本年度の総会を8月9日(日)午後5時より8時まで、尾張一宮駅前ビル(i-ビル)にて開催します。是非、ご参加をお願い申し上げます。



「西高で活躍中のサッカー部」

同窓会書記 尾関 毅

同窓会総会と同時に、第10回生・第30回生の学年同窓会を計画しておりますが、12回生の私にとつては10回生の先輩は、あこがれ・尊敬の対象でした。その私のあこがれ・尊敬した10回生のハンドボール部の先輩が、今年の2月の初旬に病で亡くされました。私はその先輩とは大学も学部も学科も同じで、部活動も同じでした。私は悲しくてしょうがありませんでした。昨年お会いしたとき、今年の8月の10回生の学年同窓会に来てくださいと、お願いしておきました。叶わぬ夢となりました。私の大学の時の新歓コンパ以来杯を

かわすことが夢でしたが…
決して先輩にも声を荒げることがない沈着冷静なかつこい先輩でした。

11回生の先輩にはフレンドリーな感覚で接することができましたが、10回生の先輩は雲の上の人のようで近寄り難いものでした。

先輩からハンドボール部を引き継いだ私は、先輩同様、常に自分の弱い心に負けないことと、一宮西高校の誇りにかけて、戦うことを心に切磋琢磨し合ったものでした。

戻りますが、亡くなった先輩には、「さようなら。ありがとうございました。」と言ってお送りしました。「さようなら」は別れの言葉のうちで最も美しい言葉です。それは、「さようなら」は「左様ならば」が略されて挨拶となった言葉です。

「左様ならば。そういうことであるならば。本当は別れたくないけれど、どうしてもそうならなければいけないならば」という意味です。

最後に先輩にハンドボール部のポロシャツに書かれた言葉を送りたいと思います。

「みんなで掴んだこのボール、絶対ゴールにたたき込め、一球一球、魂込めて」

仲間のために全力送球
一宮西高校送球部

皆々様のご健康とご多幸を心より祈念し、また8月9日(日)午後5時よりの総会へのご参加をお願いします。ご挨拶とさせていただきます。

平成27年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第10回生・第30回生学年同窓会 同時開催)

日時 8月9日(日)午後5時より
場所 尾張一宮駅前ビル(i-ビル)
会費 5,000円(学生は3,000円)

※出欠は同封のハガキ、または

E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp でお知らせください。その他のお便りもE-mailでどうぞ。

※来年度は、第11回生・第31回生(昭和52年卒・平成9年卒)の学年同窓会を計画しております。

※西高ホームページ

<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>
も参考にして下さい。

HPの中にも、同窓会のE-mailアドレスが記されています。



修学旅行



修学旅行



予餞会